

# 平成26年度 富山県看護連盟 砺波・小矢部・南砺支部研修会



開催日：平成 26 年 11 月 29 日（土）13：30～15：30

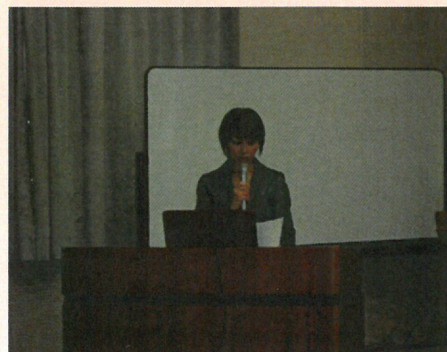
場所：クロスランドおやべ 参加者：71 名



「出前県庁」北陸新幹線が開通したら 舟根 秀也氏



ポリナビワークショップ IN 岐阜 近藤 考朗氏



国会・JNA 会館視察 尾田 愛氏



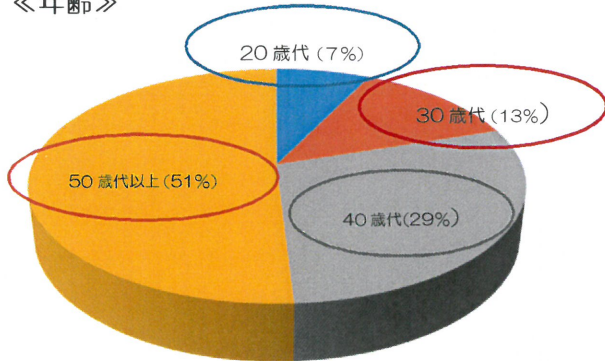
看護連盟の会員でもある  
嶋田小矢部市議会議員か  
らの挨拶もありました。

多数の参加ありがとうございました。参加者からの声「看護の現場で困っていること」は現場の声として伝えていきたいと思います。

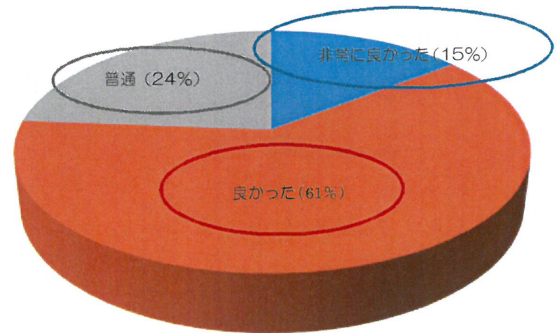
第3回砺波・小矢部・南砺地区支部合同研修会 アンケート結果

研修参加者：71 名 回収率：77%

《年齢》



《研修内容について》



《研修内容の感想や意見》

新幹線の話が長かった。もう少し身近な説明がほしかった。

県外研修の報告で、看護政策を出すこと（看護協会）政治活動ができるのが、（看護連盟）わかりやすく言ってもらい、理解できた。

「出前県庁」とてもわかりやすく、新幹線のことがわかった。

研修報告などで普段聞けないことが、知ることができた。

新幹線に関する知らない情報がわかったので、よかった。

ポリナビや政治と看護についてわかりやすかった。

大変がご苦労されている富山県知事政策局の方話は勉強になった。

新幹線の話では、普段聞けない話がきけてご苦労がうかがえた。

連盟と新幹線とのつながりがよく理解できなかった。

新幹線の話がおもしろかった。

地域のことを知ることができてよかった。

若者のつながりがたいせつだとわかった。政治にうといので勉強になった。

《看護の現場で困っていること》

高齢者の看取りに対し、医師や他職種との思いに違いがあり、カンファレンスしてもなかなか歩み寄れないことがある。

認知症患者への対応（倫理的にジレンマがある。理想と現実のギャップをどううめていくか）

7：1といわれ、有給等が以前よりもらえない。

高齢者が増加し、徘徊、食事介助等の手をかけてあげたい人が増加しているが、人員が不足している。

人員不足、WLBは育児の人が優先されている。そのため、40歳代のNSにしわ寄せがきて、夜勤回数が9から10回と多く、残業時間が多くなった。WLBは反対

看護師不足が問題に上がっていたが、看護師不足はますます、顕微になると思う。20年前に比べて、看護師に求められている内容が増えている。WLBを取り組んでいるが、すべてのスタッフが満足する制度はできない。

《12月14日の衆議院選挙について》

投票に行く：36名 できるだけ行く：14名 いかない：0名 記入なし：5名